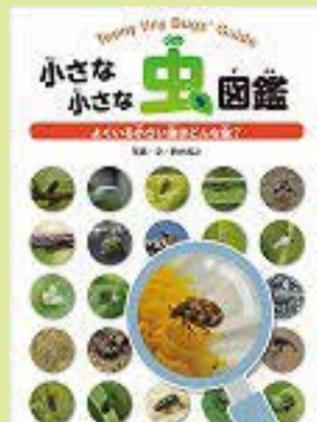


緑地を楽しむ本

『小さな小さな虫図鑑』

鈴木知之 写真・文

偕成社



「世界初、5ミリ以下の虫だらけ！」の図鑑です。日本にいる3万数種の昆虫もその多くは体長が5ミリ以下。

もくじは「家の中で」「草や地面に」「木の幹や葉に」「水辺で見つかる」にわかれています。「家の中で」を見てみると・いました、いました！ トイレや風呂場にいるあのハート形の羽の虫。名前は「オオチョウバエ」。身近に目にするけれど、形がよく見えず、図鑑でも探し

にくかった虫たちが勢ぞろいという感じです。

なかでも驚いたのは、「セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ」。セイダカアワダチソウがなければ生きられず、日本で確認されたのは1991年。母虫はオスと交尾することなく、メスの仔虫を産んで増え、仔虫はすべて母親の遺伝子だけを受けつぐクローンで、しかも胎内にすでに子をやどしているのだそうです。

こんな小さな小さな虫たちも、自然界の中で何か役割を担って生きている仲間なのかと思うと不思議さと愛おしさを感じます。(ちょっと不気味さも・)

(遠藤)